

模範解答

なまえ ()

1 けいさんを しましょう。(10点×8問)

(1) $13 - 9 = 4$

(2) $12 - 9 = 3$

点

(3) $11 - 8 = 3$

(4) $14 - 8 = 6$

(5) $15 - 8 = 7$

(6) $12 - 8 = 4$

(7) $17 - 9 = 8$

(8) $16 - 9 = 7$

13-9の計算

① 13を10と3に分ける。

② $10 - 9 = 1$

③ $1 + 3 = 4$

慣れてきたら、
 $13 - 9 = 4$ と答えがすぐに出せるようにします。

2 おだんごが 15こ あります。9こ たべました。
 おだんごは なんこ のこって いますか。

(式10点, 答え10点)

し き ($15 - 9 = 6$)



こたえ (6こ)

たべてしまうと、さいしょよりへるので、ひきざんになります。はじめが15個、たべたのが9個なので式は $15 - 9$ となります。ブロックやおはじきを15個用意してお話に合わせて操作をすると、ひきざんになることがよく理解できます。

計算は、 ① 15を10と5に分ける。

② $10 - 9 = 1$

③ $1 + 5 = 6$

で、答え6個となります。

模範解答

なまえ()

1 けいさんを しましう。(10点×8問)

(1) $12 - 7 = 5$

(2) $11 - 6 = 5$

(3) $12 - 5 = 7$

(4) $13 - 6 = 7$

(5) $13 - 7 = 6$

(6) $13 - 5 = 8$

(7) $15 - 6 = 9$

(8) $15 - 7 = 8$

	点
--	---

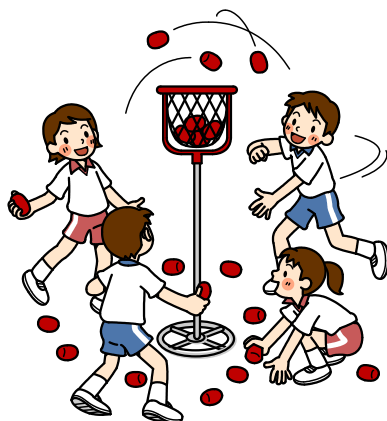
2 たまいを しました。あかぐみは 7こ, しろぐみは 14こ, いれました。

どちらの くみが なんこ おおいですか。

(式10点, 答え10点)

し き ($14 - 7 = 7$)

こたえ (しろぐみが 7こ おおい)



赤組が7個, 白組が14個なので, まず白組が多いことがわかります。差をもとめるときはひきざんになるので, $14 - 7$ という式になります。



模範解答

なまえ ()

1 けいさんを しまししょう。(10点×8問)

(1) $11 - 3 = 8$

(2) $12 - 4 = 8$

(3) $11 - 4 = 7$

(4) $11 - 2 = 9$

(5) $14 - 5 = 9$

(6) $18 - 9 = 9$

(7) $16 - 7 = 9$

(8) $16 - 8 = 8$

(1) の $11 - 3$ のようにひく数が小さいときは、次のような考え方もあります。
 ① 11 を 10 と 1 に分ける。
 ② 3 のうち 1 をばらかとする。 $3 - 1 = 2$
 ③ のこりの 2 は 10 からとる。 $10 - 2 = 8$
 いずれにしても、慣れてきたら $11 - 3 = 8$ とすぐに答えを出せるようにします。

2 こたえが 8 になる しきを 5 つ かきましよう。(20点)

17	-	9	=	8
16	-	8	=	8
15	-	7	=	8
14	-	6	=	8
13	-	5	=	8

他にも $12 - 4$, $11 - 3$, $10 - 2$ などもあります。ひかれる数が1小さくなると、ひく数も1小さくなるなど、答えを見ながら新しい発見をするのもよいですね。

